

DRUG

INFORMATION



2012 No. 6

平成24年3月15日発行

製剤変更等に伴うオーダー時の対応について

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp（担当：安田）

製剤変更等に伴うオーダ時の対応について

今月の薬事委員会において、製剤変更(5品目)、包装変更(2品目)、名称変更(1品目)が報告されました(DI ニュース 2012 No.5 を参照して下さい)。各製剤の変更に伴うオーダ時の対応を以下に示します。

【製剤変更①】

ナウゼリン錠 5mg ⇒ ナウゼリン OD 錠 5mg (院外専用薬品)

ナウゼリン錠 10mg ⇒ ナウゼリン OD 錠 10mg (院内・院外処方薬品)

OD 錠(新製剤)は院外処方では既に両規格ともオーダ可能です。院内処方で採用している 10mg 製剤については、院内の普通錠(旧製剤)の在庫がなくなり次第、OD 錠に変更することとします。変更後は DO 処方は出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。

なお、院外処方については、普通錠のオーダを **3 月 31 日**で中止します。院外の各調剤薬局では原則として OD 錠で調剤しますが、在庫状況によっては普通錠での調剤が必要となる場合があるため、普通錠でも調剤ができるよう当面の間院外処方せんの薬品名表記を下記の通りとさせて頂きます。この場合、調剤薬局では病院への疑義照会なしで薬剤師の判断により調剤を行うこととし、変更内容を後日調剤薬局より連絡して頂くこととします。

《院外処方せんの薬品名表記》

ナウゼリンOD錠 5mg (ナウゼリン錠変更可)

ナウゼリンOD錠 10mg (ナウゼリン錠変更可)

【製剤変更②】

リピディルカプセル 67mg ⇒ リピディル錠 53.3mg (院外専用薬品)

リピディルカプセル 100mg ⇒ リピディル錠 80mg (院外専用薬品)

本剤は両規格とも院外処方専用です。オーダは、カプセル剤(旧製剤)は **3 月 31 日**で中止とし、**4 月 1 日**からは錠剤(新製剤)を処方出来るようにします。変更後は DO 処方出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。

なお、錠剤はカプセル剤と効果は同等ですが、吸収性を高めており主成分の含量が 4/5 に減量されているため錠剤とカプセル剤は規格が異なります。そのため、切替

えに伴い入力時の規格選択ミスが危惧されるので、これを防ぐ目的で当面の間オーダー画面上の薬品名表記を下記の通りとさせていただきます。

《オーダー画面の薬品名表記》

リピディル錠 53.3mg (Cp:67mg 相当)

リピディル錠 80mg (Cp:100mg 相当)

一方、院外処方せんでは薬品名は商品名のまま表記致します(リピディル錠 53.3mg、等)。この時、院外の各調剤薬局では原則として処方せんの記載通り錠剤で調剤しますが、在庫状況によってはカプセル剤での調剤が必要となる場合もあります。そこで、(既に各診療科には了承を得ておりますが) 調剤薬局においてカプセル剤へ変更する必要がある場合は病院への疑義照会なしで薬剤師の判断により行うこととし、変更内容を後日調剤薬局より連絡して頂くこととします。

【製剤変更③】

ヒューマリン R 注キット ⇒ ヒューマリン R 注ミリオペン (院内・院外処方薬品)

院内処方においては、オーダーはキット製剤(旧製剤)の在庫がなくなり次第、ミリオペン製剤(新製剤)に変更することとします。変更後は DO 処方出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。

なお、院外処方においては当面の間両剤形とも処方できるようにします。全患者への指導および切替えが完了した頃を見計らってキット製剤のオーダーを中止させていただきますが、詳細については後日連絡致します。

【包装変更①】

モーラスパップ 〈6 枚/包 ⇒ 7 枚/包〉 (院内・院外処方薬品)

オーダーは、院内の 6 枚入製剤(旧包装品)の在庫がなくなり次第、7 枚入製剤(新包装品)に変更することとします。変更後は DO 処方出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。

なお、6 枚入製剤と 7 枚入製剤は薬価が異なっており、院外処方における処方せん名の工夫等は困難であるため、処方せん名は特に変更は致しません。そのため、切替後は調剤薬局の在庫状況によって、一時的に 6 枚入製剤への変更照会が発生する場合がありますが、医師の先生方の柔軟な対応をお願い致します。

【包装変更②】

タンデトロン注射用 20μg 〈アンプル ⇒ バイアル〉 (院内専用薬品)

オーダーは、アンプル製剤(旧包装品)の在庫がなくなり次第、バイアル製剤(新包装品)に変更することとします。変更後は DO 処方出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。

【名称変更】

ハルスローOD 錠 0.2mg ⇒ タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.2mg 「サワイ」

(院内・院外処方薬品)

オーダーは、院内の旧名称品の在庫がなくなり次第、新名称品に変更することとします。変更後は DO 処方出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。

なお、薬品名入力時には、新名称の「タムスロシン」、旧名称の「ハルスロー」、および先発品名称の「ハルナール」のいずれからでも検索出来るように致します。

各変更の詳細につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)、調剤室(内線 7088)、あるいは注射薬管理室(内線 8313)までご連絡下さい。